

第451回 難研セミナー

第23回 難治疾患共同研究拠点セミナー

第11回次世代オミックス医療特別講演会

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 平成23年 2月4日（金）17:30～19:00

場 所： M&Dタワー2階共用講義室2

演 著者： 中内 啓光 教授

東京大学医科学研究所・幹細胞治療研究センター・幹細胞治療分野
科学技術振興機構・ERATO 中内幹細胞制御プロジェクト

演 題：幹細胞研究から新しい医療へ

要 旨：

21世紀の新しい医療として再生医療が世界的に注目されているが、その成功の鍵を握るのが幹細胞である。代表的な多能性幹細胞であるES細胞は、試験管内での増殖能でも、また多分化能の点でも最も高いポテンシャルを持つ幹細胞であるが、受精後1週間程度の胚を利用して作製するため患者からES細胞を作ることは難しい。最近、核移植することなく体細胞を初期化してES細胞と同等の能力を持つ幹細胞を誘導するiPS細胞作製技術が確立され、患者由来の多能性幹細胞を比較的容易に造り出すことが可能になった。iPS細胞は新しいヒト細胞のソースとして創薬や毒性試験に利用できるだけでなく、これまで考えられなかった新しい遺伝子・細胞治療を可能にすると予想され、広く21世紀の医療に貢献することが期待される。本講演ではこうした種々の幹細胞の基本的な性質と、幹細胞を利用した新しい医療の可能性について概説したい。

（参考文献：Kobayashi T et al. Cell. 2010;142(5):787-99.）

連絡先　： 幹細胞医学分野 西村 栄美（内線 97-8064）
(共催)　： 生命情報学分野 田中 博（内線 5839）